

<令和6年度 福野小学校アクションプラン>

(1) 重点目標を達成するための具体的な目標及び数値指標

- ・ 共感的に話を聞いたり、自分の考えを進んで伝え合ったりする。
(考える子) (達成度 80%)
- ・ 進んで挨拶することができる。
(人の役に立つ子) (達成度 80%)
- ・ 廊下や階段の右側を落ち着いて安全に歩行する。(元気な子) (達成度 80%)

重点項目 1	① 共感的に話を聞いたり、自分の考えを進んで伝え合ったりすることができる。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室に目指す「聞き方」「話し方」のステップアップ表を掲示するとともに、子供たちが継続して意識することができるよう、声をかけたり振り返りの場を設けたりする。 ・ 目指す「話し方」「聞き方」のうち、子供自身が目標を決め、取り組むことができるようにする。その際、「なるほど」と思いながら聞くことも、考えをもっていることになると子供たちに伝える。 ・ 学年朝の会、朝活動、学校行事等、授業時間以外においても子供の話す姿や聞く姿を捉え、実態に応じて全体や個別に指導していく。
外部評価者	小中学校評議員
担当	考える子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ
重点項目 2	② 進んで挨拶することができる。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校時等、友達、地域の人や来校者等に進んで挨拶したり、挨拶を返したりすることができたかを振り返る場を設ける。 ・ 挨拶は広い意味でのコミュニケーションの入り口であり、「ありがとう」や「ごめんなさい」など、状況に応じて進んで伝えられるよう指導していく。 ・ あいさつ運動等、高学年児童の思いを反映しながら児童会活動を工夫する。
外部評価者	小中学校評議員
担当	人の役に立つ子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ
重点項目 3	③ 廊下や階段の右側を落ち着いて安全に歩行することができる。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廊下歩行をすることに対する理解と徹底を促すために、担任が各学級で継続的に指導する。 ・ 右側通行を意識するために、床にテープを貼る。 ・ 児童会で休み時間に呼びかけを行う。 ・ 児童会で定期的に「廊下階段歩行週間」を設け、子供たちが自己評価する。
外部評価者	小中学校評議員
担当	元気な子部会
評価方法	保護者評価、児童自己評価、教職員評価
公開の方法	学校通信、ホームページ